

記入例

令和〇 年度

給与栄養量の目標は定期的に見直しを行う。
(少なくとも年度に1回は行う。)

施設長は、施設の給与栄養量の目標が適正であるかを確認する。(サインでも可)

施設長	主任	担当
福岡	素	栄

施設の給与栄養量の目標

施設名

○△□保育園

	エネルギー kcal	たんぱく質 g	脂質 g	食物繊維 g	ビタミンA μgRAE	ビタミンB1 mg	ビタミンB2 mg	ビタミンC mg	カルシウム mg	鉄 mg	食塩相当量 g
1～2歳児	460	15～23	10～15	設定なし	190	0.25	0.30	20	220	2.2	1.9未満
3～5歳児 (主食：有・無)	550	19～29	13～19	3.6	215	0.32	0.36	22.5	260	2.5	2.1未満

※数字は【記入例】であるため、実際は施設が設定した給与栄養量の目標(数値)を記入する。

設定根拠、使用食材等について

○入所児童の身体や生活の状況等から、「日本人の食事摂取基準2020年版」に基づき福岡市が示す今年度の給与栄養量の目標を、施設の給与栄養量の目標として設定した。

○献立は市が作成する標準献立を基本とするが、一部の食品や使用量を変更する。
・肉と魚の加工品は使用しない(全児童)
・午後おやつの飲料をスキムミルクから牛乳に変更(未満児のみ)

給与栄養量の目標を設定した根拠等を記入する。

使用する食材や頻度などについて記入する。
標準献立を基本としているが、一部変更を行う方針等がある場合なども記入する。
(施設の「食糧構成(食品構成)基準を作成している場合は添付する。)

※施設の食糧構成(食品構成)基準を作成している場合は添付する。

(給食栄養管理ソフトなどで食品成分表に基づき給与栄養量を算定する場合、食糧構成(食品構成)基準は必ずしも作成する必要はない。)